



駐車場から入りやすい場所に玄関がある



階段と反対方向にスロープ。歯科医院名が道路からも目立つ

小児の頃から歯を守る 予防を診療の根幹に据え 1日160人の患者を診る

三重県四日市市の「歯科診療所ひまわり」は、地域密着の大型歯科医院。
治療も予防と地続きとして考える診療で成長してきた。
その歩みと今後を伺った。

医療法人HIMAWARI 歯科診療所ひまわり

理事長 井上 博 先生



患者の増加に伴い 現在地に移転新築

「歯科診療所ひまわり」は、三岐鉄道三岐線の大矢知駅から徒歩15分の場所にある。公共交通機関より車での移動が中心の地域のため、歯科診療所ひまわりも60台を停められる駐車場を持つ。

2005年の開業時は、井上博理事長と歯科衛生士2名、受付1名という体制。ユニット2台でのスタートだった。

井上理事長は、開業のきっかけをこう話す。
「実家が歯科医院というわけでもなく、高校の先生に勧められて歯科医師になりました。6年ほど勤務医をしていた頃、周囲の勧めもあり、『今が開業のタイミングかな』と思ったのです」(井上理事長)

新規開業の場合、駅や商店街の近くなど、患者が集まりやすい場所を探すことが多い。しかし、井上理事長は立地にはこだわらず、準備資金で可能な場所に決めた。「開業セミナーに参加したとき、講師の税理士さんが『土地はどこでもいい』と話していたことが印象に残っていま

した。いい歯科医院であれば、患者さんは場所にこだわらず、通院してくれるというのです。うちのような地域は、広い駐車場が必須です。私には、立地より150坪の土地の確保が重要でした」(井上理事長)

2階を自宅に、1階を歯科医院にしての開業は、すぐに3台目のユニットを入れることになった。その後も患者の増加に合わせ、自宅を移転し、2階も診療室に変えるなどして、ユニットを増やしていった。そして、9台になったときに限界を迎えた。

「患者さんがピークの時間帯には、レントゲン室のなかで型取りしたり、待合室で歯磨き指導をしたり、本当に大変でした。駐車場も足りず、近所のお宅の庭先を借りたりしたんです。そこで、2020年に今の場所に移転し、建物も一新することにしました。以前のクリニックから車で数分の場所です」(井上理事長)

現在の歯科診療所ひまわりは、600坪の敷地に2階建てが建つ。1階は診療室で、ユニットは15台。個室が2つあり、他のユニットはパーテーションで仕切られている。2階はミーティングルーム兼キッチンやリラクゼーション機能を完備したスタッフルームだ。